

令和6年第1回教育委員会会議

令和6年1月17日

午前 9時30分 開会

1 開会宣言

○廣瀬教育長 ただいまから令和6年第1回教育委員会会議を開会いたします。

会期は本日限りといたします。

本日の会議の欠席者を教育総務課長から報告願います。

○森教育総務課長 本日、欠席者はおられません。

○廣瀬教育長 傍聴者はお見えですか。

○伊藤教育総務課主幹 本日、傍聴者はおりません。

2 会議録署名者の決定

○廣瀬教育長 それでは、会議録署名者の決定に移ります。

お諮りいたします。

本委員会の会議録署名者として、数馬委員と豊田委員とでお願いをしたいと思います。御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○廣瀬教育長 御異議がないようですから、提案どおり決定をいたします。

3 議事

○廣瀬教育長 これより議事に入ります。

本日の議事は、協議事項1件、報告事項2件ですが、協議事項、新図書館の諸室構成案につきましては内部での検討の段階の事項でありまして、それから、報告事項、本市におけるいじめ事案については個人情報を含む案件であるため、非公開で審議をする必要があると考えます。なお、本市におけるいじめ事案についての参加者は、副教育長、教育監、政策推進監、教育総務課長、学校教育課長、指導課長、教育支援課長、人権・同和教育課長といたしたいと思います。

皆さん、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○廣瀬教育長 御異議がないようですから、この2件については後ほど非公開にて審議をいたします。

(1) 報告

1 令和5年11月定例会月議会の報告について

○廣瀬教育長 それでは、報告事項の説明に入ります。

報告事項、令和5年11月定例会月議会の報告についての説明をお願いします。

○磯村副教育長 では、私から11月定例会月議会の報告をさせていただきます。資料は12分の3ページから要旨が始まりますが、まずは12分の4ページを御覧ください。

一般質問についてです。一般質問については、6人の議員から御質問をいただきました。

まず、1つ目ですが、体育館の空調整備についてということで、この件につきましては過去にも複数の議員から一般質問がございまして、直近ではちょうど1年前の令和4年11月定例会月議会で調査研究を進める旨答弁をしております。それ以降、先進事例の視察などを行いまして調査を行っていますが、体育館の断熱性など様々な課題もあることから、引き続き調査研究を行っていくとの答弁をさせていただきました。

資料は12分の5ページを御覧ください。

次は、学校図書館についての質問です。

学校図書館の利用状況、図書標準の達成状況や新聞の配備、読書活動の取組、市立図書館との連携について質問がございました。

子どもたちの図書離れの傾向があるということ、図書標準については全体としては達成しており、今年度除籍基準も設けまして、蔵書数や資料の質向上に努めておるところを答弁いたしました。

読書活動に関しましても、委託により司書を配置しておりまして、司書教諭とも連携して進めていること、また、読書活動推進校の取組をほかの学校、全校で共有をしていること、市立図書館との連携については、なのはな文庫などの取組を従前から行っておりまして、今年度スタートしました電子図書館は、小中学校の全児童生徒全員にIDを配布して、学校や家庭で活用できるようにするなど連携していることを答弁いたしました。

次に、12分の6ページを御覧ください。

この上ですが、こちらは昨年、他の自治体におきまして学校の運動場や公園で地中に埋まっている金属で子どもがけがをしたという事故を受けまして、四日市市としてどのよう

な対応をしているのかという質問と、今後、金属探知機を使用した安全管理をしてはどうかという御提案がございました。これは運動場だけではなくて、公園に対しても質問がございましたが、不特定多数の方が使用する公園に対しまして、学校の運動場は職員の管理下で使用されております。また、目視により定期的な点検もされていることという辺りを御説明させていただきまして、今後も安全管理は徹底していくということを答弁させていただいております。

次に、そのページの下になりますが、こちらは給食センターの衛生管理、特に羽がある虫が建物の出入口から進入することを防ぐことに対しまして、防虫フィルム等を導入することについてということで提案がございました。今年度より供用を開始しました給食センターは、HACCPの考え方に基きまして最新の設備を備えた施設でございますので、十分な衛生管理は実施されていると考えていますが、議員からはさらに加えてこんなこともしてはどうかという御提案であったというふうに受け止めまして、導入するかどうかについては検討をさせていただくというような内容の答弁をさせていただきました。

次に、12分の7ページを御覧ください。

こちらの質問は、大きく分けまして、今年60周年を迎えました姉妹都市提携に関連してYEFについての質問。もう一つが大矢知地区の教育環境についての、この大きく分けて2つの質問がございました。

YEFにつきましては、ロングビーチ市との姉妹都市提携を基盤としまして長年続いているものでして、四日市市の子どもの英語力の向上に寄与しているということ。また、他市と比べましても人数が多く、充実しているという辺りについて答弁をさせていただきました。

大矢知地区の教育環境につきましては、大きく施設に関する部分と通学路に関する部分の質問がございまして、施設整備につきましては、全市的な計画に基づき、それぞれの課題解決に向けた取組を行っているところであるということ、通学路については、学校、地域関係者、教育委員会が協議の上設定したものでございまして、もし変更が必要となれば、再びそういった関係者で協議することになるというような内容を答弁させていただいております。

資料は12分の8ページを御覧ください。

上は先ほど申し上げた大矢知の部分の続きですが、下です。下の部分の質問に関しては、PTAの在り方に関する質問がございました。内容としては、入退会や会議などへの出席

について、強制されることのないよう教育委員会から助言すべきではないかというような趣旨の質問に対しまして、PTAは任意団体でございまして、教育委員会が管理し得る立場ではないものの、入退会の意思確認であったり、関係する会議などへの出席が保護者の負担となっていることなどについては課題として認識していただけるよう、校長を通じて伝えていきますというような答弁をさせていただいております。

次に、12分の9ページを御覧ください。

こちらは議案に対する質疑でございます。

小中学校保健室等空調設備整備事業に係る契約締結についてという議案です。この事業については以前にも御報告をさせていただいておりますが、2度の不調を経まして、結果的には事業を2つに分け、早急に整備が必要な給食室等は既にリースで契約して供用を開始しておるところでございますが、そのほかの部分について、今回PFI方式で実施するところを議案として挙げてございます。これに対して、議員の方々も2度の不調があったということは御存じですので、再び不調にならないようにどのような対策をしたのかということですか、事業者の応募状況についてはどうだったのかという辺りについての御質問がございました。

議案自体は可決をさせていただいております。

次に、12分の10ページを御覧ください。

ここからは債務負担行為の補正についての質疑応答でございます。

例年、この11月定例月議会においては、翌年度当初から業務を実施するために、当年度中に契約するものについて補正を上げていくのが通例であります。今年度は特に新規事業に係るものが多く、特に今回まとめてございますように、生活ログシステムとか採点システムなど、システム関係で目新しいものがございましたので、どんなようなシステムなのかということや、その効果についてはどうかというような御質問がございました。

次に、12分の11ページを御覧ください。

こちらは学校給食用食材調達等業務委託についてです。これも昨年度同時期に債務負担行為で上げているものなんですけれども、議員からは、物価高騰が継続していることから、円滑な物資調達に努めるようにというような御意見を頂戴しております。

資料、最後ですが、12分の12ページを御覧ください。

これは全体会についての質疑です。

こちらの議案、教育委員会の議案ではなかったのですが、これはシティプロモーション

部の議案で、市営温水プールの改築に係る補正予算の議案がございました。これにつきまして、水泳協会から陳情が出されましたことから全体会での審議となりまして、教育委員会としては学校における水泳指導の民間委託を進めているという状況がございます関係上、教育委員会も全体会に出席を求められましたので出席をいたしましたところです。ほぼほぼ温水プールに関する議案ですので、質疑はシティプロモーション部への質疑応答がおおむねであったんですけども、資料に1点記載してございますような今後の水泳指導の民間委託について質問がございましたので、教育委員会としては、来年度可能性調査をした上で全体の計画をしていくというような答弁をさせていただいたところです。

議会の報告については以上でございます。

○廣瀬教育長 ありがとうございます。

11月議会の報告につきまして、何か御確認されたいこと、御質問ありましたらお願いをいたします。

○伊藤委員 それでは幾つか。答弁の内容どうこうではないんですけども、話題にも出てきているものなので、少し教えていただきたいなと思うことがありまして、12分の4の体育館の空調設備設置についてなんですけれども、本市の学校の施設の空調設備の考え方、特に体育館を含めて、大体こういう理科室や図工室などの特別教室がまだこれからというところもあるしというようなことで、体育館については気密、断熱性能の確保などといったところが、建物性能の課題があるということと、また、交付金の問題もあるというようなこととかで説明いただいている、なるほど、そういうふうな方向かなとは思わせてもらったんですけども、ただ、今後いろいろ調べたり視察したりして、どのように特に体育館の空調の整備を進めていくのかなと。特に建て替えということも及んで答弁されていまして、建て替えの段階で、空調をどう考えていくのかということは大きく関わってくることもあるので、今の段階でこうするところがはっきり決まっているわけではないとは思いますが、考え方として何か教えていただくことがありましたら、こんなふうな視点で進めていくんだということを考えているとか、その辺り、今後どうするのかなというのは、今挙げましたように素朴な疑問ですね。その辺りで何か教えていただくことがありましたらということです。

それから、5ページの市立図書館との連携についての電子図書館、先ほども説明がありましたように、児童生徒が活用できるように環境を整えていただいているということなんですけど、反応というのはどうなのかなという。自分も登録して利用し出しているというと

ころですけれども、また状況、何か分かっているところがありましたら教えてください。

それと、次の6ページの特に運動場関係ですね。金属、くぎとかそういったものの古くなったのか、その辺りで、東京であるとか愛知県の西尾だったと思うんですけれども、秋にかなり見つかったということがあって、その危険度を改めてというところだと思うんですけれども。

過去に自分も運動場を整備しているときに、小さいくぎだったらすぐ出てきてしまうので、マーカールのリボンを結んだりして結構大きなくぎを打ち込んでおったというふうなことは経験としてはあるんですね。それが今どうなっているかということで、代が替わっていくと、そんな打ち込んだということはもう忘れられてしまっていて、あるときふと、例えば子どもが掘って出てきたとか、そういったこともありました。

目視ではなかなか難しいのも現実的にはあるだろうし、整備作業が土を入れてどうこうのときに、そこまで土を削ってまでの整備がされるのかどうかというのがありますけれども、何らかの拍子にそういうものが出てきて、古くぎというのは確かに危ないですから、金属探知機というのを議員も言われていますけれども、調べてみるには悪くはないんだろうなというような気もしています。そういう方法も、頻繁にすることではないと思うんですけど、一回きっちり調べておいてもいいのかなというように思います。金属探知機そのものはそんなに高いものではないとは思いますが、一考の価値はあるのかなというふうに思いました。

それから、今後、そういう鉄製、金属製ではなくて、樹脂やゴム製であったり、そんなものに変えていくんだらうと思うんですけど、その辺りの状況、また、考え方とか教えていただけたらと思います。

それと、Y E Fのことなんですけれども、Y E Fがずっとこうやって継続的にされているというのは本当にとってもいいことで、ぜひ今後とも思うんですけど、今J E Tプログラムとの関わりってどうなっているのかなというのもありまして、全部ロングビーチからではだんだんなくなってきたようには思うんですけど、またその辺の状況を教えてください。

それから、Y E Fの効果的な雇用の仕方ですね。年数をJ E Tプログラムに合わせてあるとは思いますが、四日市にとってよりY E Fを効果的に活用していくという意味では、それはベースにしながらも、検討していくべき点もあるのかなというふうには思いますので、何かその辺り、今現在の状況を教えていただけたらなと思いました。

以上です。

○廣瀬教育長 それでは、空調の考え方から教育施設課をお願いします。

○内田教育施設課長 おはようございます。教育施設課、内田でございます。

伊藤委員からお話がありました空調については、今現在、保健室等の空調の整備、更新に取り組んでまして、古くなったものの更新についてはやっと業者が決まり、今準備を始めたところでございます。来年度には工事に入るところです。全体的に不調もありまして遅れているという状況でございます。

それを踏まえて、次ですけれども、体育館の話からしますと、体育館については、やはり今おっしゃっていただいたとおり、子どもたちの学習や生活の場であると思うんですね。熱中症対策の観点から必要というところと、指定避難所というところもあります。防災機能強化という面からも空調設備の設置をしていかなければならないということは国からも言われております。本市としまして、それに向けて今調査研究をしており、今お話がありました先進的なところ、名古屋市とか鈴鹿市さんとか、関東でいけば町田市まで足を運びまして、空調の方式も様々で、輻射式とか、パッケージエアコンというものとか、あとは工場にあるような大型の送風するものといった、いろんなタイプの学校を見た上で今後どうしていくかというところを今調査研究しているところでございます。その中で、本市の学校もともと断熱性能がないですので、視察先では断熱性能がなくても、ある一定の効果は出ているというところも確認してきております。そういうことも参考にしながら、どの方法がいいのかというところを今研究しているところでございます。

あと、特別教室についてなんですが、ここにも、1番目のところに書いてありますけれども、本市は46.9%で、全国的にもちょっと低い数字になっているというところなんです。それに関して、普通教室のときに一緒につけた学校が、全国的に多かったので一気に伸びたんですけれども、本市は取りあえず普通教室につけてきたということで、続けて特別教室に取り組んでいきたいと思っております。2度の入札不調があつて、全体的にちょっと遅れているという実情は理解しております。ですので、今回の保健室等の更新を進めるとともに、来年度は特別教室の空調に向けて仕様書の作成などに取り組んでいきたいと考えております。

以上でございます。

○廣瀬教育長 よろしいですか。

次は電子図書館の状況をお願いします。

○堀田図書館長 図書館、堀田です。よろしくお願いします。

電子図書館につきましては10月からスタートさせていただきまして、小中学校の利用もだんだん伸びているところです。正確な数字を今日持ち合わせていないんですが、11月時点から、1か月でどれぐらい伸びたかといいますと、11月から12月にかけて閲覧数、つまりは読み放題パックの本を見たりとか、ホームページに入っているいろいろな本を見たりというのを比較しますと約1.8倍に伸びております。

また、貸し出しにつきましては、実際にお一人だけしか借りられない本を借りていただくのも1.45倍ぐらい。約1.5倍の貸出しの伸びにもなっております。

学校サイドからも、例えば学校のホームページであるとか、それから、冬休み前に学校からプリントという形で保護者に向けて電子図書館についての周知を図っていただきましたし、もともと図書館を利用しているようなお子さんたちは、私たちのところに来て、読んでいるというのを、私は今3冊借りているとか、お姉ちゃんに使い方を教えたとか、そういう形でアピールもしていただいているところです。

今年度は本当にふんだんに予算をつけていただいていますので、今月も292冊追加させていただきましたし、先月も400冊追加させていただいています。皆さんに読んでいただけるようにこれからも冊数を増やしていくのと、また春になりましたら読み放題のほうも少し追加をしていきたいと思っております。

実際、児童生徒さんと学校の関係者を含めると結構な数のIDパスワードを発行しています。市民の方々には段々と目新しさがなくなってしまったのか、利用は少しずつ減ってきてしまっているんですけども、学校側で利用いただいているものにつきましては、やっぱり図書館まで来なくていい、あさけプラザまで来なくていい、という点と、返すときも確認をしなくても自動的に消えていくので、いつまでに返さなくてはいけないという心配をしなくてもよいということで、気楽だという話もいただいています。こちらからもこういう本があるんですよとか、新しい本が入ったとか、そういったものも含めまして情報発信しまして、市民の皆さんに一度は使っていただけるように充実していきたいと思っております。

以上です。

○草川指導課長 朝の読書でそういうふう電子図書を活用して朝読書に充てていく、ハイブリッドで取組を進めている学校も増えておりますし、非常に好評だという話も聞いています。今度の2月には担当者会がありますので、声を聞いて、どんな連携をしていくといいのかということも聞きたいと思っております。

以上です。

○**廣瀬教育長** では次に、金属探知機、運動場整備のことを代表して教育監からいいですか。

○**前田教育監** 教育監、前田でございます。

まず、ここの答弁にもございますように、まずは事故が起こったという報道があったときに指導課から各学校において点検をするように通知をいたしました。これは8月にあったときには、9月以降、行事とか運動会等でくぎ等打つことも多いものですから、それに向けても改めて通知をしているというところで、しっかり確認をしております。また、毎月の安全点検というところで引き続きチェックを継続しております。

それから、新たに埋める場合があるときは、地図といいますか、どこに埋めたということきちんと全体で把握するというので、確実に打った後は必要がなければ抜くというところも徹底していくところでございます。

ただ、一部校長先生等から、それこそ以前に埋めたものについて、どの辺に埋まっているのか分からない。よく、今だと埋めるところ、分かる部分はあるけれども、昔にどういうところに埋まっているのか分からないという不安があるという声もいただいたものですから、やはり金属探知機という部分も考えてみようというところで、年明けに教育委員会で1台準備をしまして、試しで近隣の学校で実施しました。そうしたら、やはり少し出てきました。一部、金属探知機の性能によってはすごく深く掘らないと出てこないような瓦礫のようなものも反応してしまうものですから、そこまでは必要ないにせよ、地表付近にあるものについては、見つけるにはふだんの安全点検にプラスして助けにはなるのではないかとということで判断をしております。

今後、希望校には貸出しをするなど、活用方法を検討していく必要があるというふうに捉えてございます。

○**廣瀬教育長** 金属探知機の活用法については検討していこうかなと思っている一方で、それを一斉に作業するとなると結構な時間と費用がかかりそうですので、そうすると、うちの今やっている運動場整備、年間1,000万ぐらいでやらせてもらっているのをストッパーしながらやんなあかんで、どうなのかなというのがあるって、どうやってこれを確認していくかと、今ちょっと方法は、学校現場の負担も考えながら相談をしていきたいなと思っております。

では、次にY E Fの状況をお願いします。

○草川指導課長 指導課です。

Y E F、今現在16名おるわけですが、そのうち、9名がロングビーチの選考によって選ばれた方です。J E Tはそのほかのということになりますが、J E Tの指導員の質も非常に上がってきていまして、今リーダーシップを発揮しているのもJ E Tの出身ということなんです。連携という意味合いで、例えば、今回J E Tで来日して指導しようとしておったときも、すぐ帰国してしまった方がいるんですが、その代わりにロングビーチ市からすぐに派遣するというような形で、連携を取りながら採用されています。J E T、ロングビーチ出身関係なしにみんな仲よく英語教育を頑張っておるところです。

○廣瀬教育長 一時期Y E Fの採用が苦しくなったことがあって、J E Tに切り替えようかなというときもあったんですけど、今やっぱり帰っていった方々が向こうでリクルート活動もしていただいて、安定的に応募があったり、先ほど課長からもありましたが、急に帰っていく指導員がいた場合に、声をかけたら、すぐ来てくれるというような状況があったので、この関係はもう歴史が培ってきたものなんだなと思いますので、大事にしていきたいと思っています。

○伊藤委員 Y E Fの中にもいろんな、確かに将来設計している指導員がいて、その中でもリーダーシップを取って、かなり指導力を発揮できるというか、自分たちの中での資質を上げるとか、指導力を上げるための動きをするような指導員も過去いたように思うので、こういう、でも年限で切っていかなきゃならないというふうな、ちょっとつらい思いもあって、そういう人材をうまく何とか生かせないのかなというように思うこともあったとは思んですけど、全て教育委員会が研修システムを持っているとは思んですけど、それでやっていくというよりも、そういうふうな関係にしていけないと、それを全部事務的なことも含めてやっていくとなると大変な部分もあるので、そういう運営ってやっていけないのかなというか、今どうなっているのかなというようにあったので、ちょっと尋ねさせてもらいました。

○廣瀬教育長 過去には残ってやっていきたいという方もいたんですけど、会計年度職員に位置づけると報酬が物すごく下がるという問題があって、なかなか位置づけが難しかったので、そういった方は、日本に残って違うところで職を探して英語指導をやっていくところになってしまって、人材としては非常に惜しいものを失っているのは事実なんですけど、ちょっとまた今後検討していかんかかなと思っています。

○草川指導課長 教育長おっしゃるように、今、リーダーシップを発揮している指導員が

いるんですが、その方も年限があり、満期になってしまったものの、四日市や日本でそのまま働きたいとは言ってくれていています。そういった方を、理想としてはしっかりと給料を払って、Y E Fのコーディネーター的な役割を果たしてもらって、一部の小規模校の学校にも派遣していくというようなことができるといいなという話はしています。しかし、今のY E Fの給料に比べたら、待遇するにもベストではないので厳しいかなと思っています。そのつなげていくという辺りは考えていきたいと思います。

○廣瀬教育長 ほか、よろしいでしょうか。

(2) 協議

1 新図書館の諸室構成案について

○廣瀬教育長 それでは、次、進めていってよろしいですか。

これより先については、さきにお諮りしました非公開の案件に入りますので、傍聴者はお見えになりませんですね。